

高知家

おらんく耐震化 劇場

～第2幕～

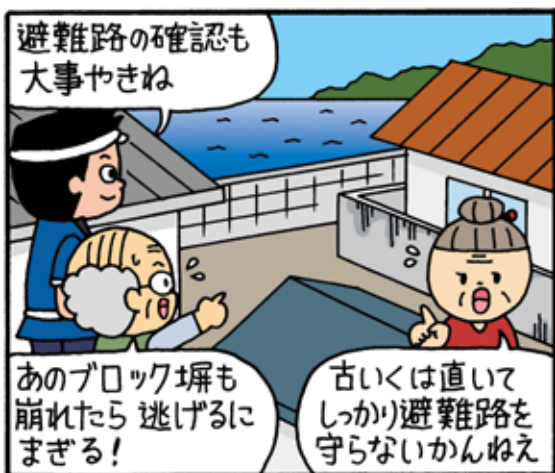
避難路を耐震化で守って

津波からしっかり避難!!



どうせ津波がくるので、住宅の耐震化をしても無駄だと思いませんか？家が壊れて閉じ込められてしまえば、高台や避難タワーに逃げることもできません。

ほとんどの場合、耐震改修工事は住みながら行うことができます。工期は1～2週間程度です。



もしも大地震が発生したら!?



避難路をふさぐ恐れのある、ブロック塀の撤去等の補助金がある市町村もあります。

30年以内に70%程度の確率で発生!

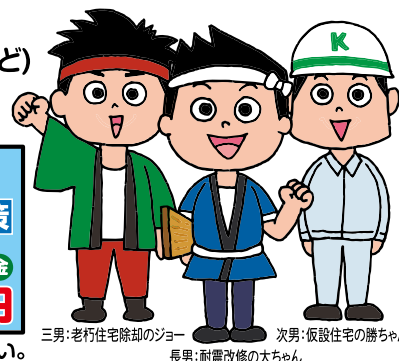
倒壊したご自宅のがれきや、ブロック塀が避難路をふさげば、近所の方の避難を妨げ、多くの命を奪うことになるかもしれません。地域のみなさん一人一人の取り組みがとても大切です。

住宅の耐震改修に補助金があります!

対象住宅 昭和56年5月31日以前に建築された住宅(戸建て、長屋及び共同住宅など)

申込先 住宅のある市町村 **申請者** 対象住宅の所有者

耐震診断 自己負担 3千円	耐震設計 補助率2/3 最大 20.5万円 補助金	耐震改修 補助率10/10 最大 92.5万円 補助金	ブロック塀 補助率10/10 耐震対策 最大 20.5万円 補助金
----------------------------	--	--	--



三男:老朽住宅除却のジョー 次男:仮設住宅の勝ちゃん 長男:耐震改修の大ちゃん

■お問い合わせ 高知県土木部住宅課 TEL 088-823-9856

(受付時間 午前8時30分～午後5時 休日を除く月～金)

耐震3兄弟 © 村岡マサヒロ

高知県 耐震 検索

非常時の持ち出し品・備蓄品チェックリスト

災害後の救援物資の到着やライフラインの復旧までに最低限必要なものを準備しておくで安心です。

- 非常持ち出し品は両手が使えるリュックタイプの袋に
- 避難の妨げにならないように軽くコンパクトに
- 自分や家族の状況に応じて中身を選びましょう
- 中身は定期的にチェックが必要です

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 現金（できるだけ公衆電話で使える10円、100円の小銭を用意） | <input type="checkbox"/> タオル（箱で用意） |
| <input type="checkbox"/> 軍手（表面がゴムで補強されている物） | <input type="checkbox"/> ティッシュペーパー |
| <input type="checkbox"/> ガムテープ | <input type="checkbox"/> せっけん |
| <input type="checkbox"/> 台所用のラップ | <input type="checkbox"/> 歯ブラシ |
| <input type="checkbox"/> 懐中電灯 | <input type="checkbox"/> マスク |
| <input type="checkbox"/> 乾電池、携帯電話の予備電池 | <input type="checkbox"/> 大型ビニールごみ袋 |
| <input type="checkbox"/> 乾電池式のラジオ | <input type="checkbox"/> 簡易トイレやトイレパック（携帯トイレ） |
| <input type="checkbox"/> ろうそく | <input type="checkbox"/> 古新聞（寒さ対策にも役立つ） |
| <input type="checkbox"/> ライター、マッチ | <input type="checkbox"/> ブルーシート |
| <input type="checkbox"/> 筆記用具（鉛筆・メモ用紙・太マジック） | <input type="checkbox"/> スリッパ、スニーカー |
| <input type="checkbox"/> 救急キット（消毒薬・絆創膏・包帯・三角巾・常備薬など） | <input type="checkbox"/> カセットコンロ、予備のガス |
| <input type="checkbox"/> ウエットティッシュ | <input type="checkbox"/> 工具（のこぎり・金づち・パール・ペンチなど） |

女性や乳幼児、お年寄りなど、それぞれに必要なものも備えておこう！

赤ちゃんに必要なもの

- 粉ミルク（アレルギー用ミルク）
- 哺乳瓶（哺乳瓶用の消毒剤など）
- オムツ
- おしりふき

女性用品

- 生理用品（サニタリーショーツ・清浄綿など）

持病がある方

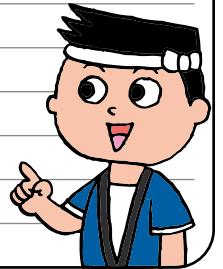
- お薬手帳

その他必要と思われる物

-
-
-
-
-
-
-
-

ワンポイントメモ

普段コンタクトや老眼鏡を使いゆう人は**予備のめがね**があったら安心ぜよ！



家族の3日分の食料と飲料水の備蓄で安心！

生存するための水は「ひとり当たり3リットル」が1日の必要量といわれています。被災地でのエコノミー症候群が注目を集めましたが、心筋梗塞などの循環器疾患は、大震災でも大勢の中高齢者の命を奪いました。いずれも原因は不自由な環境でトイレへ行く回数を減らすと水分の摂取を控えたことも要因といわれています。非常時こそ、水分バランスを保つことがとても大切です。

品名	量	期限が近いものを記入 消費期限	品名	量	期限が近いものを記入 消費期限
<input type="checkbox"/> 飲料用の水	ℓ 本		<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>		

非常持ち出し袋 & 備蓄食料は年に1度は点検を！ 点検する日は 月 日